

●今回の上映作品について

「辺境音楽映画FES」

さあ、ついにやってきました「辺境音楽映画FES」3本立て！今日は相当な好き物の皆様がお集りのことと思います。ミニアックな音楽情報その他もろもろ、ぜひぜひ情報交換していきましょう。今回の映画をすべて配給しているプランクトンさんは、こういう辺境系のミュージシャンを日本に紹介する活動を長年地道に続けているプロモーターの様な会社で、今回「正直忙しくて映画配給まで手が回らないのですが…」と言いつつも同じ指向性のゴトゴトシネマに共鳴してくれたのか、テキパキと条件を整えていただき3本立てでの上映が実現しました。ゴトゴトの愛してやまないトニーガトリフ監督作品「僕のスイング」に出てたジブシーギタリスト、チャボロ・シユミットもプランクトンのプロモートで7月4日の大阪を皮切りに7月9日の東京までツアーが企画されています。ご興味のある方はぜひチェックしてみてください。



オレカTXとカピアパの絵美さん

バックナンバーはHPまで

もうひとつ、上映を決めてから分かったのですが、昨年3月に上映した「カピウとアパッポ〜アイヌの姉妹の物語 主演のカピアパさんは、なんと昨年「遊牧のチャラパルタ」に主演している演奏者オレカTXとキプロス島で共演されたのだとか。「本当に素晴らしい演奏。高知の皆さんにも聞いてもらえたい」とカピアパのお2人からも、高知上映会に向けてエールを送っていたております。

さあ、よもやま話はこれくらいにして。本日は辺境の地で生まれ育まれた素晴らしい音楽の数々を、どっぷりと、じっくりと体験していきましょう！

●今後の上映作品について

「被ばく牛と生きる」

7月28〜29日@メフィストフェレス

「さすらいのレコードコレクター」

7月18〜20日@メフィストフェレス / 21日@日曜社

「いしづみ」

8月21日@自由民権記念館ホール

「心と体と」

9月1〜2日@メフィストフェレス

初夏から秋にかけて、ゴトゴトシネマ魅惑のラインナップが続々続きます。「被ばく牛と生きる」は、原発避難でUターンしたゴトゴトファミリーにとっても重要な作品。そのテーマ性のみならず、構成、映像も素晴らしいドキュメンタリーです。詳しくはチラシ他公式ホームページまで。ぜひご参加ください！

続いて急ぎよ上映を決めたのが、「さすらいのレコードコレクター〜10セントの宝物〜」。以前この通信でも触れましたが、遠路アメリカ・ミンシッピまでブルースフェスに行くほど無類のブルース好きのゴトゴトシネマ前田には、そりゃあもうたまらない作品です。自慢のSPレコードを回して葉巻をくゆらせシエイクするゴキゲン偏屈じいさんの物語。好き物の皆さんも、そつでない皆さんもぜひ！

もう一本急ぎよ上映を決めたのが先日「万引き家族」でカンヌ映画祭・最優秀賞に選ばれた是枝裕和監督の2015年の作品「いしづみ」。女優・綾瀬はるかさんの朗読劇を中心に、追跡ルポも織り交ぜ原爆・戦争の悲劇を伝えます。「本作を貫いているのは悲しみではなく怒りです」と語る是枝監督渾身の一作を、ぜひご体験ください。

そして最期にご紹介するのが、なんとゴトゴトシネマ初のフィクション映画となる「心と体と」。「鹿になり戯れる同じ夢」を見ていたことがきっかけで、少しずつ気持ちを通わせていく不器用な中年男女の誠実で初々しいラブストーリーです。もうだいぶん前から視聴して上映を決めた本作品。ゴトゴトシネマの新たな展開として、ふさわしくあまりある内容です。ぜひともご期待ください！

gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて

●ゴトシネマヒストリー vol. 8

方向性を決定した傑作「JAZZ大名」



開演前にJBを楽しむ桑尾の民。

大入りの期待を込め自分の中では鳴り物入で上映した「寅次郎の相合い傘」でしたが、集客は地域の老夫婦1組と友達1人…。いや、これでも良かったのです。この御夫婦は本当に楽しみにして来てもらったし、「大きなスクリーンで見るとえいね」と言ってもらえたし、もういいそのこと、次からお宅に上がり込んで上映してもいいくらいに思いましたから。しかしながら、それは公民館でやる意味がゆるゆるなのがナッシング。恭一さんが昔上映したように、あの池袋の寅さんのように、西岡一さんが昔上映したように、ワイワイして見たい！ こういう想いをひっそり、第三弾に向けて作品選びを重めました。ちょうどその時、土佐山アカデミーで来ていた若人が何人かいて、その中でも興味を持ってくれた方が面白い情報を提供してくれました。講師で来ていた方が「JAZZ大名」を勧めていた。とのこと。「なんじゃそりゃ」と思って視聴したこの岡本喜八作品がぶつ飛んでましたね。原作は筒井康隆、タモリや山下洋輔も出演してドシャメシャやりまくるこの作品。ゴトゴトシネマのハートにグツと突き刺さりました。

思えば、このあたりからゴトゴトシネマの作品選びに一つの柱ができたように思います。それは、「まず自分が見たい映画」そして、「見せたい映画」！ この柱ができたことからお客さんが少なくてもあまり落ち込まなくなりました。少なくともいい、来てくれた人がちゃんと楽しんでくれました。ワイワイするのは人の数ではない、来てくれた人の心がワイワイしてくれればいい…。場合によっては人生を揺るがすような映画をやっているんだから…。桑尾公民館上映第3弾「JAZZ大名」は参加してくれた土佐山アカデミー関連の移住者たちを中心に、ぶつとんだ感動を桑尾公民館にもたらしてくれたのでした。